田辺市議会だより

令和２年
（２０２０年）
２月号

発行 / 田辺市議会　　編集 / 広報委員会

１月５日　「田辺市消防出初式」

第４回（12 月）定例会

一般会計補正予算などを可決
平成 30 年度一般会計歳入歳出決算は不認定

令和元年第４回（12 月）定例会は、11 月 28 日から 12 月 20 日までの 23 日間の会期で開催され、「令和元年度一般会計補正予算」など、市長提出議案 22 件を全て原案のとおり可決または異議なしとしたほか、市長専決処分事項など３件の報告を受けました。

なお、第３回（９月）定例会で常任委員会に付託され、閉会中の継続審査となっていた平成 30 年度各種会計の歳入歳出決算議案等 16 件については、一般会計歳入歳出決算を不認定とし、その他の各種会計歳入歳出決算については全て原案のとおり認定または可決としました。

本定例会では、12 月９日、10 日及び 11 日の３日間にわたり、11 人の議員が一般質問に立ちました。

目　次

・議決結果の一覧等 …… Ｐ２～３
・一般質問 …… Ｐ４～６
・視察研修報告 …… Ｐ６～７
・第１回（３月）定例会予定
　議会活動日誌ほか …… Ｐ８

田辺市議会ホームページ
http://www.city.tanabe.lg.jp/gikai/index.html

※携帯電話・スマートフォンなどのバーコードリーダーで読み取ると、議会ホームページにアクセスできます。

QR コード

議決結果

令和元年第４回（12 月）定例会

件　　名		議決結果
３定議案第 21 号	平成 30 年度田辺市一般会計歳入歳出決算について	不認定 （全会一致）
３定議案第 22 号	平成 30 年度田辺市国民健康保険事業特別会計歳入歳出決算について	認定 （賛成多数）
３定議案第 23 号	平成 30 年度田辺市後期高齢者医療特別会計歳入歳出決算について	
３定議案第 24 号	平成 30 年度田辺市介護保険特別会計歳入歳出決算について	
３定議案第 25 号 ～ 36 号（12 件）	平成 30 年度各種会計歳入歳出決算等（３定議案第 21 号～第 24 号を除く）	認定または可決 （全会一致）
４定議案第１号	田辺市営住宅条例の一部改正について	原案可決 または 異議なし （全会一致）
４定議案第２号	田辺市立幼稚園条例の一部改正について	
４定議案第３号	田辺市特定環境保全公共下水道事業の設置等に関する条例の制定について	
４定議案第４号	工事請負変更契約の締結について（近露福定線（逢坂隧道）道路改良）	
４定議案第５号	工事請負変更契約の締結について（林道小広静川線地すべり災害復旧）	
４定議案第６号	田辺市障害福祉サービス事業所古道ヶ丘の指定管理者の指定について	
４定議案第７号	田辺市熊野の郷古道ヶ丘の指定管理者の指定について	
４定議案第８号	田辺市熊野古道館の指定管理者の指定について	
４定議案第９号	令和元年度田辺市一般会計補正予算（第７号）	
４定議案第 10 号	令和元年度田辺市国民健康保険事業特別会計補正予算（第２号）	
４定議案第 11 号	令和元年度田辺市介護保険特別会計補正予算（第２号）	
４定議案第 12 号	令和元年度田辺市農業集落排水事業特別会計補正予算（第１号）	
４定議案第 13 号	令和元年度田辺市漁業集落排水事業特別会計補正予算（第１号）	
４定議案第 14 号 ～ 16 号	人権擁護委員候補者の推薦につき意見を求めることについて	
４定議案第 17 号	田辺市長等の給与に関する条例の一部改正について	
４定議案第 18 号	田辺市職員の給与に関する条例等の一部改正について	
４定議案第 21 号	令和元年度田辺市国民健康保険事業特別会計補正予算（第３号）	
４定議案第 22 号	令和元年度田辺市介護保険特別会計補正予算（第３号）	
４定議案第 19 号	田辺市議会議員の議員報酬及び費用弁償等に関する条例の一部改正について	原案可決 （賛成多数）
４定議案第 20 号	令和元年度田辺市一般会計補正予算（第８号）	

賛否が分かれた議案	議案の可否	紀新会					篤志会				清新会			公明党			日本共産党			くまのクラブ		誠和会	
		尾花 功	宮井 章	市橋 宗行	安達 克典	塚 寿雄	髙田 盛行	福榮 浩義	松上 京子	浅山 誠一	橘 智史	柳瀬 理孝	北田 健治	小川 浩樹	佐井 昭子	出水 豊数	川﨑 五一	久保 浩二	前田 佳世	安達 幸治	陸平 輝昭	中本 賢治	二葉 昌彦
3定議案第22号～24号 ※議案名は右記議決結果参照	**認定**	賛成	賛成	賛成		賛成	賛成	賛成	賛成	賛成	賛成	賛成	賛成	賛成	賛成	賛成	反対	反対	反対	賛成	賛成	賛成	賛成
4定議案第19号 田辺市議会議員の議員報酬及び費用弁償等に関する条例の一部改正について	**可決**	賛成	賛成	賛成		賛成	賛成	賛成	賛成	賛成	賛成	賛成	賛成	賛成	賛成	賛成	反対	反対	反対	賛成	賛成	賛成	賛成
4定議案第20号 令和元年度田辺市一般会計補正予算（第8号）	**可決**	賛成	賛成	賛成		賛成	賛成	賛成	賛成	賛成	賛成	賛成	賛成	賛成	賛成	賛成	反対	反対	反対	賛成	賛成	賛成	賛成

※議長（安達克典）は議決に加わらないため斜線としています。

平成30年度田辺市一般会計歳入歳出決算を不認定としました

水産増養殖事業費及び水産振興費において、不適切な会計処理が発覚し、平成29年度田辺市一般会計歳入歳出決算が不認定となったにもかかわらず、議会に対し講じた措置の報告もないまま、平成30年度のイセエビ放流事業等を実施していたことが、今回、所管の産業建設委員会の決算審査で明らかになりました。

適切な経過を踏まえることなく、放流事業等を実施していることから平成30年度田辺市一般会計歳入歳出決算については、認定することができない。また、全容解明ができていないにもかかわらず、不適切な会計処理を行った和歌山南漁協に対して、補助金を交付していることは、市民の理解が得られるものではないなどの意見が産業建設委員会で出され、同委員会で全会一致により当該決算を不認定としました。

産業建設委員会では、このほか、今後、水産増養殖・水産振興事業補助金等の不適切な会計処理事案の早急な全容解明を求めるとともに、再発防止策を示す等、一刻も早い議会への報告と市民への公表を強く要望いたしました。

さらに、11月28日開催の本会議において、産業建設委員会からの委員長報告の後、採決を行った結果、全会一致により、当該決算を不認定としました。

※議は議員からの質問・意見、市は市当局の答弁を表しています。

水道事業について　小川浩樹議員

議 人口減少により、給水人口、給水量が減少していく中、将来、水道事業の経営状況が厳しくなっていくと予想されるが、どう考えているか。

市 将来の経営方針や、収支見通しを示す経営戦略の策定を予定している。現況を把握し、業務の効率化や経営の健全化に一層努めていく。

議 水道使用量が少なく、基本料金だけを払う世帯にとっては、現在の料金体系では不公平感があると思うが、どう考えるか。

市 経営戦略に基づき、総体的な料金体系を研究していきたい。

中辺路町八柱神社境内のトチノキ及びカヤの文化財指定ついて　安達幸治議員

議 中辺路町石船・八柱神社境内のトチノキやカヤは、巨木で樹齢も相当古いものと思われ、地域住民の間でも早くから文化財指定を望む声があった。市としてこれら樹木の文化財指定を前向きに考えられないか。

市 トチノキやカヤ、またこれらの樹木を含む八柱神社の鎮守の森については、今後の文化財指定や、どのように保存、活用を図っていくのか、所有者や関係者の協力を得ながら協議を進めていきたい。

ゴールデン・スポーツイヤーズを踏まえたスポーツ振興について　橘智史議員

議 日本代表が大活躍した「ラグビーワールドカップ２０１９」に続いて、来年は「東京２０２０オリンピック・パラリンピック競技大会」、再来年には「ワールドマスターズゲームズ２０２１関西」と世界的規模のスポーツ祭典の開催を控え、スポーツ熱の高まりが伺える。本市として今後のスポーツ振興やジュニア選手の育成をどのように考えているのか。

市 スポーツパーク等拠点施設を核として、今後もより一層スポーツ振興を図るとともに、より多くのジュニア選手が全国規模の大会で活躍できるよう育成に努めていきたい。

自治体ＬＩＮＥアカウントの取得について　浅山誠一議員

議 ２０１９年５月から**自治体が無料でＬＩＮＥアカウントを取得**できるようになった。その機能は市政情報の発信、戸籍・住民異動・福祉・教育など住民向けサービスの各種申請・届出の受付や、災害時における緊急連絡、道路の不具合の受付など多岐にわたる。過去に行った市民アンケートでもＬＩＮＥによる情報発信を求める声が多く、本市も導入すべきと考えるが、見解は。

市 **ＬＩＮＥを導入するメリットはたくさんある**一方、検討すべき課題もあると考える。**ＬＩＮＥを含めた新しい媒体の活用について検討**していきたい。

※編集の方針上、「～だ」「～である」といった文体に統一しています。

一般質問

※議は議員からの質問・意見、市は市当局の答弁を表しています。

雨水流出解析調査を実施した地域の浸水対策について　北田健治議員

議 市は、会津川流域で浸水被害が発生しやすい**秋津・万呂・上屋敷**地域の一部区域において、雨水流出解析調査を実施。いずれの地域においても、浸水対策を要するとの結果であった。３地域における浸水対策を問う。

市 庁内関係部署で構成する浸水対策作業部会及び浸水対策協議会において、協議を行っている中、３地区の防災・減災対策として、移動式排水ポンプ等の運用を検討していきたいと考えている。

議 有効性及び消防団に負担をかけない運用方法等、議論を深めた上で周辺住民の不安が緩和されるよう早期の対策を要望する。

捕獲鳥獣の処分方法について　柳瀬理孝議員

議 近年、有害鳥獣対策としてわな免許を取得する農家が増加傾向にあるが、捕獲した鳥獣の処分に大きな労力を要することがある。ジビエ業者との連携の強化により、効率的な捕獲鳥獣の処分方法を検討できるのではないか。

市 捕獲個体の処理が、農家の皆様に大きな負担となっていることは十分認識している。市としては、田辺市ごみ処理場において捕獲個体の受入れを実施しているが、ジビエ業者とも連携しながら農家をはじめとする狩猟者の負担軽減に繋がる取り組みを研究していきたい。

田舎も市街地も同じ生活ができる過疎対策について　出水豊数議員

議 高等学校等通学又は下宿費・寮費助成の見直しはできないか。

市 保護者負担を軽減し、若者の生活環境づくりの一助となるよう検討したい。

議 遠隔地に住む高齢者等に対してタクシー料金の助成はできないか。

市 財源確保や対象者選定等の課題がある中で、田辺市地域公共交通網形成計画を通じて、持続可能な公共交通ネットワークを構築できるよう努めたい。

議 若者が安心して生活できる安価で変動しない市営住宅の家賃への見直しができないか。

市 公営住宅法適用を受けることなく活用が可能な手法がないか等検討したい。

３０年後の田辺市と市庁舎整備について　前田佳世議員

議 中心市街地は**商業衰退、人口空洞化**が著しく、**人口重心が郊外**に移転している。**庁舎の移転先**選定に際し、**津波**被害等により、中心市街地の抱える課題が加速することを想定しているか。

市 中心市街地の近くに整備する必要があるとの認識の下、中心市街地との連携性を含めて総合的に評価し、移転先を選定したもので、人口空洞化や商業衰退等が加速することは想定していない。

議 被災した住民が中心市街地に戻り、**復興できる具体策**を考えているか。

市 これまで同様に中心市街地の活性化に取り組む必要がある。

議 被災後、郊外に移り住む住民にとって沿岸部の市役所が便利なのか。**復興策なきままの移転**に熟慮を求める。

※編集の方針上、「～だ」「～である」といった文体に統一しています。

※議は議員からの質問・意見、市は市当局の答弁を表しています。

新庁舎建設工事の地元業者への発注について　川﨑五一議員

議 新庁舎建設工事は地元業者（建設共同企業体を含む）で受注可能か。

市 検討委員会を設置し、品質や入札の公平性の確保に加え、地域経済の振興といった観点を考慮し、委員それぞれの専門的な立場からの意見を聞きたい。

議 経済波及効果を考えれば地元に発注すべき。**ゼネコン受注で地元への還元が激減**することは紀南病院の建設で明らか。地元で受注できない工法なら工法を、土地形状が理由なら候補地を見直すべき。工期や価格などの入札条件によって、事実上**地元業者を排除・脱落させることのないよう**に求める。

市役所新庁舎建設費の妥当性について　久保浩二議員

議 今後50年で人口は半減し、職員も大幅に減ることが予想される。庁舎整備費125億円は高すぎる。**田辺市の将来を考え50～60億円の規模に見直すべきだ**。

市 必要最小限のみ確保しており、規模を縮小すれば機能性が損なわれる。

議 ライフサイクルコストが年間5億円近くかかり財政を圧迫する。50億円規模に見直すと年間2億円も負担が減る。

市 財政的に十分対応できる。

議 人口減少も進み、市税収入が大幅に落ち込むことが予想され、財政的に問題がないとの答弁は信頼できない。無駄をなくし税金は住民のために使うべきだ。

ＪＧＡＰ（生産工程管理に基づく品質保証）の推進について　尾花功議員

議みなべ・田辺の梅システムに対して、世界農業遺産等専門家会議から保全・活用に向けた助言があった。これに対しては、ＪＧＡＰの手法を推進することにより導かれていくと思うが、当局の見解は。

市 専門家会議では、委員から高い評価を得るとともに、いくつかの助言をいただいた。ＪＧＡＰ取得に向けた取り組みは、世界農業遺産の保全等を足元から実践していく一つの規範となる。消費者等が求める農産物の安心・安全確保への対応や農業経営の改善につながる認証取得は意義あることであり、ＪＡ紀南や関係機関と連携し、ＪＧＡＰ制度の啓発等を推進していきたい。

※編集の方針上、「～だ」「～である」といった文体に統一しています。

視察研修報告

常任委員会では、市政の発展・住民福祉の増進のため、他の自治体などの先進的な取り組み等について、行政視察を実施しています。

総務企画委員会

◆日程　令和元年11月5日～7日

◆派遣委員

◎橘　智史　○福榮浩義　松上京子

前田佳世　宮井　章　二葉昌彦

安達克典　出水豊数

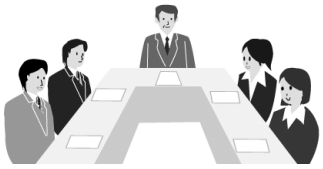
（◎委員長　○副委員長）

①大分県日田市【日田市復旧・復興推進計画について】　日田市では、平成29年7月の九州北部豪雨やそれ以前の数回にわたる大災害を経験する中で、「日田市復旧・復興推進計画」を策定し、次の災害に備えることを基本に「改良復旧」や「創造的復興」に取り組んでいます。日田市復旧・復興推進計画策定に係る経過、概要、ポイント、現在の取り組み状況、今後に向けた考え方等について説明を受けました。本市の災害対策においても復旧、復興は大きな課題であり、日田市におけるの取り組みは大変参考になりました。

②岡山県倉敷市【真備地区復興計画について】　田辺市は、平成23年

の紀伊半島大水害で甚大な被害を受けました。被害から8年が経過する中で一定の復興は完了していますが、近年異常気象による災害が多発する中で再び同じような災害が起きるのではないかと不安を募らせている住民も少なくありません。そのような中で重要となるのは強固な防災・減災対策ですが、倉敷市では、真備地区が全国の防災・減災対策のモデルとなるように「経験を活かした災害に強いまちづくり」を目指す中で、真備地区復興計画を策定しています。計画策定の趣旨や構成、復興計画策定までの展開、市民参画等、大変参考になるお話を伺うことができました。

③岡山大学【岡山大学における行政との連携について】 岡山大学では、地域の人々と大学が、地域の抱える諸問題をともに考え、地域再生の方向を語り合う場を設けており、大学と地域が生き生きとしたネットワークで結ばれることを目指し取り組んでいます。本市も和歌山大学など地元の大学を初め、複数の大学と交流を深め、当地域の課題に共に取り組む体制を構築しつつありますが、岡山大学での取り組みを参考に今後さらに充実させていきたいと考えます。



産業建設委員会

◆日程 令和元年10月23日～25日
◆派遣委員
◎尾花　功　○浅山誠一　川﨑五一
北田健治　市橋宗行　安達幸治
小川浩樹
（◎委員長　○副委員長）

①兵庫県養父市【国家戦略特区（中山間農業改革特区）の取り組みについて】 養父市では「人口減少と高齢化の進行」「農業の担い手不足と耕作放棄地の増加」という多くの地方が抱える問題を解決するために全国画一的な施策ではなく、養父市自らが施策を考え実施し、全国へ展開することが重要だと考え、国家戦略特区の第一次募集に応募。経営ノウハウを有する企業の農業参入などを特区制度を活用して取り組んでおり、こうした制度を活用して問題解決にあたる姿勢には学ぶべき点が多いと感じました。

②山口県下関市【創業支援事業について】 下関市では、創業支援カフェ「KARASTA」を創業支援に関する拠点に位置付け、相談窓口機能を強化し、創業希望者の発掘及び育成を段階的に支援することで、創業者増加による新たな雇用の創出を促進するとともに、施設の市民交流の拠点化を図り、唐戸地区のにぎわい創出に資することを目的とした取り組みを行っています。創業支援は全国各地で実施されておりますが、今回の視察を通して成功事例ばかりに目を向けるのではなく、失敗事例も学び活かしていく事が大切だと感じました。

③山口県長門市【木育の取り組みについて】 長門市では、森林に関心を持つ所有者や山林作業を行う所有者が、高齢化の進行等に伴い減少しています。そのため、林業・木材産業の衰退、人口減少という問題の対策として、木育を核とした「①林業・木材産業の発展、②子育て世代から選ばれるまちづくり」に取り組んでいます。本市の林業・木材産業も厳しい状況にあり、また人口減少についても若年層の流出に歯止めがかかっていないのは長門市と同様であることから、参考となりました。

文教厚生委員会

◆日程 令和元年10月29日～31日
◆派遣委員
◎久保浩二　○柳瀬理孝　高田盛行
塚　寿雄　佐井昭子　中本賢治
（◎委員長　○副委員長）

①三重県伊賀市【地域福祉あんしん保証プロジェクトについて】 伊賀市社会福祉協議会では、入院などの際に保証人を求められても、身寄りがいないことによって十分な福祉サービスを受けられないことへの対策として、「地域福祉あんしん保証プロジェクト」を立ち上げ、保証を求める側の理解が得られるような「保証機能」で対応できるよう施策構築を進めており、これまでの経過や現状について説明を受けました。本市においても重要な課題であることから、今後も注目していくべき施策であると考えます。

②愛知県北名古屋市【エンディングサポート事業について】 北名古屋市では、身寄りのいない高齢者が、葬儀や納骨などについて事前に葬儀事業者等と契約をしておく「エンディングサポート事業」を展開しています。また、本人の家族構成や財産、医療や葬儀で希望することなどを記載する「エンディングサポートノート」を独自に作成して配布しており、市民の関心の高さもうかがえるとのことで、本市での実現可能性も踏まえながら、取り組み内容や効果等について聴取しました。

③長野県塩尻市【元気っ子応援事業について】 塩尻市では、子供の個性や特性に応じた育ちを応援する事業として「元気っ子応援事業」に取り組んでいます。年中児とその保護者を対象に、集団あそびの参観や専門知識のあるスタッフとの相談で成長発達を一緒に考えるほか、「元気っ子講演会」を開き、発達障害などの特性についての理解を地域でも広げる取り組みを行っており、本市においても子育て支援を重要施策のひとつと位置付ける中で、参考とすべき点が多いと感じました。

議会日誌

11月	【22日】議会運営委員会 【28日】本会議（1日目）、総務企画委員会、産業建設委員会、文教厚生委員会、新庁舎整備及びまちづくり等特別委員会
12月	【9日】 本会議（2日目）、全員協議会 【10日】本会議（3日目）、議会運営委員会 【11日】本会議（4日目） 【12日】文教厚生委員会、産業建設委員会 【13日】総務企画委員会 【18日】新庁舎整備及びまちづくり等特別委員会 【20日】本会議（5日目）、議会運営委員会、総務企画委員会、産業建設委員会、文教厚生委員会、広報委員会
1月	【9日】広報委員会

市議会本会議の会議録や録画映像はインターネットからご覧いただけます

田辺市ホームページを検索
↓
田辺市議会をクリック
↓
次のご覧になりたい項目をクリック
会議録検索 → 閲覧・検索
議会録画配信 → 録画映像
↓
ご覧になりたい本会議開催日等を選択

- 田辺市ホームページ
http://www.city.tanabe.lg.jp/
- 田辺市議会ホームページ
http://www.city.tanabe.lg.jp/gikai/index.html
※表紙のQRコードからもアクセスできます。
- 会議録検索ページ
http://www.kensakusystem.jp/tanabe/index.html
- 議会録画配信ページ
http://www.kensakusystem.jp/tanabe-vod/index.html

議会日程の詳細や市議会だよりの内容等について、ご意見・ご質問等がありましたら、下記までご連絡ください。

ホームページでは、議会の情報や本会議会議録、録画映像をご覧いただけるほか、声の議会だよりもご利用いただけます。

【連絡先】
田辺市議会事務局
〒646-8545
田辺市新屋敷町1番地
TEL 0739-26-9940（直通）
FAX 0739-25-5579
E-mail:gikai@city.tanabe.lg.jp
http://www.city.tanabe.lg.jp/gikai/

次回の「市議会だより」

5月号

（第1回（3月）定例会の報告）

令和2年第1回（3月）定例会の会期日程（予定）

第1回（3月）定例会の会期日程（案）をお知らせします。

なお、日程は諸事情により変更される場合があります。恐れ入りますが、傍聴をご希望の場合は、議会事務局まで日時をお問い合わせください。

月	日	会議の内容
2	26	本会議1日目（現年度補正予算等関係議案の提案説明、新年度予算等関係議案の提案説明）
	27	本会議2日目（新年度予算等関係議案の提案説明（続き）、現年度関係議案に対する質疑及び委員会付託）
3	2、3	常任委員会（現年度補正予算等関係議案審査）
	9	本会議3日目（付託議案に係る委員長報告、現年度補正予算等関係議案審議、一般質問）
	10	本会議4日目（一般質問）
	11	本会議5日目（一般質問、新年度予算等関係議案に対する質疑及び委員会付託）
	12、13 16、17	常任委員会（新年度予算等関係議案審査）
	25	本会議6日目（新年度予算等関係議案に係る委員長報告、議案審議）

※本会議の開会予定時刻は、3月25日が午後1時、それ以外は午前10時です。

編集後記

余寒厳しき今日このごろ、市民の皆様には平素より田辺市議会に対し、ご理解とご協力を賜り感謝申し上げます。

時の流れは早いもので昨年7月28日に発生した奇絶峡の大規模斜面崩壊から半年余りが経過しました。市民の皆様にはご不便をおかけしておりますが、現在、仮設道路の建設工事が進められ、順調にいけば3月中に開通する予定となっております。「昨年は奇絶峡の紅葉を見ることができず寂しかった」という方も少なからずいらっしゃるのではないでしょうか。紅葉はもちろんですが、春の奇絶峡も桜が美しく素晴らしい景色です。仮設道路が開通した暁には、皆様も立ち寄ってみてはいかがでしょうか。仮設道路の開通により、交通量が戻り、地域に活気が溢れることを切に願っております。（柳瀬）

広報委員会
委員長　安達　幸治
副委員長　松上　京子
委員　柳瀬　理孝
〃　前田　佳世
〃　宮井　章
〃　中本　賢治
〃　出水　豊数